

# 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

## MSW ニュース 3月号

2019年3月1日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

編集：與儀 篤（中部徳洲会病院）

### 今月の contents\*

研修報告 『在宅医療・介護連携にかかるモデル事業』	公立久米島病院 新垣美鈴	1P
研修報告『第1回・第2回在宅医療・介護連携にかかるモデル事業(ウェブ会場)』	大浜第二病院 謝敷 奈津子	2P
在宅医療・介護連携(中部圏域)報告 (中部地区 C ブロック編)	北中城若松病院 香村 真範	3P
新入会員紹介	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 富里 果林	4P
部会のお知らせ 3月研修部だより	北中城若松病院 香村 真範	5P
2月理事運営会議録	2/28 県MSW協会理事会	6P
はいさいワーク	沖縄赤十字病院	9P
編集後記		9P

## 研修報告

### 平成30年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業 在宅医療・介護連携にかかるモデル事業<第2回事例検討研修会>参加報告

平成31年1月28日

公立久米島病院 地域連携室 新垣 美鈴

本研修は 1/7 に行われた個別事例検討に引き続き、同事例を通して地域の課題をロジックモデルで考え、課題解決につなげることを練習しました。また、研修の手法としては、前回と同様に沖縄協同病院会場とスカイプでつないで、各会場でグループディスカッションしたことを共有するという形式でした。

今回は、東京大学から松本佳子先生により「大往生」とは何か、何があれば久米島で大往生が果たせるのかということテーマに講義とディスカッションが行われました。特に、地域の課題に対する取り組みを、中間アウトカム、最終アウトカムを設定して達成度を確認することは新鮮でした。これまで「なんとなくやってみたらうまくいった、うまくいかなかった」という風に取り組んでいたことに対して、アウトカムを設定することで、取り組みを見直したり、進捗具合を確認したりするというふうにより可視化する取り組みはなかなか難しい内容でした。

しかし、なんとなくこなしていた支援の状況や課題を整理する過程を地域の方々と一緒に行うことで、案外しっかり支援できていたことや、重要視していないことが大事なファクターだったことに気づくことができました。

このように個別ケースの課題から見える地域の課題を考えることが初めての方も多かったので、どのように自身の意見をまとめればよいのかわからず戸惑っていたようですが、沖縄協同病院会場の熟練の皆さんの意見を聞いてとても勉強になったという声が聴かれました。また、今まで手探りで行ってきたことが本島の方々からも良い評価を得られたことで、島内のメンバーも自信を得ることができました。研修を通して、地域の方々との連帯感がますます深まったように感じ、改めて、久米島を事例に取り上げていただいたことに感謝の念が堪えないです。

研修を担当してくださった協会の皆様、沖縄協同病院会場の皆様、まことにありがとうございました。

## 平成 30 年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業 在宅医療・介護連携にかかるモデル事業 ＜第1回・第2回事例検討研修会 沖縄協同病院ウェブ会場＞参加報告

平成 31 年 1 月 7 日・月 1 月 28 日  
大浜第二病院 医療福祉課 謝敷 奈津子

H31年1月7日と1月28日の両日に渡り、当協会主催にて「在宅医療・介護連携に係るモデル事業」と題した事例検討研修会が、公立久米島病院にて行われました。Web配信会場となった沖縄協同病院にて研修参加致しましたので、その内容を報告致します。

まず第1回目は、樋口会長より入退院支援連携デザインについて現状と今後の課題について講話頂き、その後久米島病院の新垣美鈴氏より、「末期癌患者の在宅支援」についての事例をテーマに、今後の課題や協働支援の在り方を各グループで共有しました。久米島の地域ならではの課題や、本島も見習うべき地域性が溢れる事例でした。

終盤には富樫先生による「価値に基づいた援助」について講話いただきました。「人は対処能力(実現認識・対人関係・自尊感情)が低下すると本来の自己決定が出来なくなる、家族は第二の患者、SWは対処能力を向上支援の為に働きかける者、いつでも謙虚な心でクライアントへ向き合うべし！」とSW支援本来の一番重要な部分を、富樫節でご教授してもらいました。SW2年目の新人の私にとっては、ソーシャルワークの重要性を改めて再確認させられました。

第2回目には、東京大学の松本佳子氏より、「在宅医療・介護連携におけるロジックモデルの活用」をテーマに、ロジックモデルの構造、アウトプット評価(結果)で終えるのではなく、アウトカム(成果)までが一連のプロセスである。という事を確認した上で、第1回目の新垣氏の事例を基に、ロジックモデルを用いて事例を、再度ワークショップにて見直し行いました。まずは大きな目標を打ち立て、その実現に向けて段階ごとのタスクを設定し、取り組みが細かくなっていくごとに、「病院側はもっとこうしてほしい！」「行政もっと頑張れ！」等の声が上がると共に、目指す目標は皆同じである事も再認識できました。

この研修をふまえて、今よりもっと「大往生」できる環境にすべく、出来る事から一人ひとりが意識を持ち続けながら取り組んで行きたいなと思いました。

## 在宅医療・介護連携(中部圏域)報告

### 在宅医療・介護連携推進事業の報告 中部地区医師会 C ブロック(西原町・中城村・北中城村)編

北中城若松病院 香村 真範

平成31年1月31日、「あなたは人生の最期をどうデザインしますか？～知る・話す・決める はじめの一步～」と題し、地域住民向けに開催されましたので報告します。

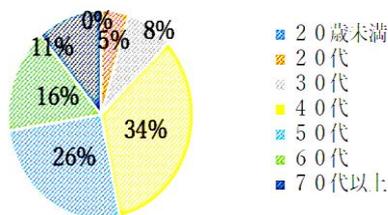
～ 参加者 ～

総数98名(男性35 女性63 内アンケート 62)

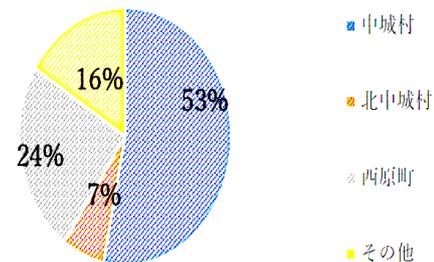
主催者報告一部抜粋

3. 年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
0	3	5	21	16	10	7



○40代、50代の働き世代の参加が多かった。次に60代、70代であった。



○主催地である中城村からの参加者が全体の53%、次に西原町から24%、続いて北中城村からは16%であった。宜野湾市などの近隣市町村からの参加者もあった。

初めに、「在宅医療と介護、劇を通して見てみよう！」と題し、うるま市民劇場付属演劇集団「こかげ」による寸劇がありました。内容は、急におばあちゃんに癌が見つかり余命が告げられ、本人・家族・医師にて今後の治療方針や療養場所をどうするか、という一場面。実際に患者・家族が目の当たりにすることを、わかりやすく、そして面白く演じて頂き、身近に起こり得る問題であることを感じて頂けたかと思います。

講演では初めに、中城村役場・比嘉昌子氏より、3町村の人口動態、介護保険料の推移や要介護の原因疾患等について説明。次に私より、MSWの役割や国の目指している方向性とその理由、各病院の役割、そして人生をデザインしていくうえで大切なこととお話させていただきました。

つづいて、居宅介護支援事業所みずほ中山哲郎氏より、ケアマネージャーが何をする人か、どこにいるのか、どう選ぶのか、どのようなサービスがあるのか、また上手に在宅介護を続けていくポイントをお話いただきました。

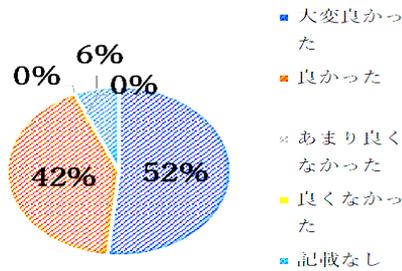
最期に、訪問看護ステーションふたふぁ新垣絹子氏より、訪問看護師が在宅でやっていること、できることを事例を通してわかりやすく説明し、医療ケアが必要になったり、最期まで在宅で過ごしたいとの想いに寄り添っ

ていくことを説明いただきました。住民の皆さんがこれからの人生を考える“一歩”になれば嬉しく思います。この事業を通しMSWとしてとても考えさせられることがありました。

企画から運営まで、関係者の皆さんありがとうございました！

5. 講演会について

大変良かった	32
良かった	26
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
記載なし	4



○「大変良かった・良かった」が94%と参加者の満足度が高いことがわかる。



**自主勉強会報告**

2月の「めだかの学校」「めだかのホームルーム」「めだかの放課後」は、休会しました。



**新入会員紹介**

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター  
富里 果林

はじめまして。昨年4月より沖縄県立南部医療センター・こども医療センターに入職いたしました富里果林と申します。入職し約11ヶ月が経ちますが、業務を行うにあたって、これでよかったのかなど葛藤することもあるのですが、日々多くのことを先輩方から指導・助言を受け学びながら業務に励んでおります。毎日の働いていくなかで患者様・ご家族様の笑顔をみることができたときは、この仕事にとっても充実感ややりがいを感じております。

今後もMSWとしてより良い退院支援、相談業務を行えるように、研修等に参加し知識を深め実践力を身につけていきたいと思っております。今後、調整・研修等で皆さまと関わることが多くあると思っておりますので、よろしくお願い致します。





<b>3月研修部だより</b>	
<b>めだかの学校(おおむね経験年数3年未満)</b>	
テーマ	事例のまとめ方、作成について 講師:安慶名真樹(大浜第二病院)
日時	平成31年3月13日(水) 19:00
会場	ハートライフ病院
参加費	無料
問い合わせ	大浜第二病院 医療福祉課 謝敷
<b>めだかのホームルーム(おおむね経験年数3年以上)</b>	
テーマ	次年度の活動計画 / 新人教育報告
日時	H31年3月6日(水) 19:00~
会場	沖縄赤十字病院
参加費	無料(飲食代100円)
問い合わせ	沖縄協同病院 地域連携課 松永
<b>めだかの放課後(経験年数5年以上)</b>	
テーマ	調整中
日時	
会場	中頭病院
参加費	無料(飲食代200円)
問い合わせ	大浜第一病院 医療福祉課 當銘
<b>OGSV</b>	
テーマ	調整中
日時	平成31年3月13日(水) 18:30~20:00
会場	那覇市立病院
参加費	無料
問い合わせ	那覇市立病院 樋口
	平成31年2月25日付
	発行 香村(北中城若松病院)

## 2月理事運営会議録

### MSW 協会理事会 2月議事録

平成31年02月28日(木) 18:30-21:00

場所：那覇市立病院

【参加者】樋口会長、新垣副会長、安慶名、長、香村、石郷岡、山城、當銘、望月（記録）

【欠席者】又吉、秦、伊禮、大城、奥平、仲地

#### 【各部報告】

##### 1. 研修部

※別紙2月研修部日より参照

- ・めだかの学校：テーマ『事例のまとめ方、作成について』  
講師 大浜第二病院 安慶名さん
- ・めだかのホームルーム：テーマ『次年度の活動計画／新人教育報告』
- ・めだかの放課後：テーマ『未定』調整中
- ・OGSV：調整中
- ・研修部 次年度活動計画、委員選出について  
委員構成メンバー案：香村・長・池間・喜舎場・又吉・井上  
総会（5/15or5/22）時の研修テーマ案：スクールソーシャルワーク、認知症  
初任者オリエンテーション：5/25 土曜日予定  
初任者研修：医学講座を2コマ追加予定（土曜日午後半日開催）  
その他は例年通り 開催日 6/16・7/21・8/4 予備日 8/18  
中堅者研修：ISTT3年目（最終回）伝達講習ができる内容を相談  
小原先生・福山先生と日程等打ち合わせ  
めだかの学校：事例検討は6月に提出、8～9月頃に第1回事例検討会計画予定  
来年度勉強したいテーマ協議 今後計画予定  
→現在実施している研修内容を研修目的が明確になるようラダー・シラバスの作成検討
- ・2月23日（土）九州MSW協議会教育研修部会報告 出席者 香村理事  
西九州大学占部先生を講師に招き各県で使えるラダー作りについて協議  
研修企画の目的を考えてラダーを作成できているかを考える必要あり。  
「価値と倫理」をどのように研修として実施するか考える必要あり。  
別紙各県の平成30年度の研修活動報告参照  
来年度の中堅者研修のテーマは援助技術（くまもと大会にて開催）
- ・沖縄県ソーシャルワーク学会報告、2/23開催、参加者約100名

## 2. 広報部

- ・ 3月：中部徳洲会病院：與儀 編集が遅れている
- ・ 次年度委員構成メンバー案：安慶名・小橋川・大城・與儀・下地・鶴淵・安里・比嘉・高澤・崎濱
- ・ 平成30年度デザイン事業資料をホームページUP予定
- ・ 理事の改選予定

## 3. 社会活動部

### 1) 那覇市チャージャーがんじゅう課との意見交換会

- ・ 連絡票の那覇市内医療機関にて活用開始
- ・ 活用後の状況を評価しつつ、那覇市以外の医療機関へ広報
- ・ 3/14 チャージャーがんじゅう課と会議予定

### 2) 入退院支援デザイン事業

- ・ 平成30年度実績報告（中間報告） 別紙
- ・ 退院における実践の自己評価  
日時：3月2日（土）～3月3日（日）  
場所：沖縄県総合福祉センター東棟 403 教室  
講師：小原真知子氏（日本社会事業大学教授）・佐原まち子（WITH 医療福祉実践研究所）  
内容：退院支援の意義と評価指針の枠組みについて学ぶ

- ・ 地域住民への普及啓発～ACPについて～

日時：3月9日（土）

場所：沖縄県総合福祉センター東棟 403 教室

講師：猿渡進平氏（白川病院医療連携室室長）

内田信之氏（あがつま医療アカデミー理事長/原町赤十字病院副院長）

内容：ACPの地域への普及 実践報告

- ・ 次年度の事業協議（検討）

課題：入退院支援ルールの合意形成・相互理解  
ルールの浸透と活用

目的：患者家族のために、連携が今よりも良くなる  
市町村支援

研修内容の検討：どんな内容の研修が必要か

市町村が抱える困難事例（医療機関と行政の共通事例）

介護の課題を一番抱えているのは介護福祉士やヘルパーでは？

生活に一番近い介護を担う人材のキャリアアップ

介護福祉士とヘルパーからのヒヤリング

実務は24時間であり、研修に参加することも難しい

集合研修ではなく、公民館単位等のエリアで出前研修

病院と隣施設や事業所とのマッチングしパッケージ

パッケージの種類をいくつか作成する

マッチングする作業  
介護人材へのリスペクトが必要

・南部地区医師会在宅医療介護連携推進事業  
多職種研修「入退院時における医療・介護連携研修会」糸満市：講師樋口美智子  
日時：3/14 木曜日、16：00～18：00

3) ハンセン病 ゆうな協会より依頼事項

足の皮膚疾患 南部に居住する患者さんの愛楽園以外の近隣病院での対応について  
→病院へのアンケート等の実施を検討してはどうか  
個人情報や実際の対応方法について協議が必要  
ゆうな協会へ再度内容を確認

4) 沖縄タイムスへの掲載記事（コラム）760文字

4月：樋口 5月：望月 以降の予定は理事で分担する  
締め切りは確認して報告

5) 「きらサポ」の連載企画記事：インタビュー予定：

春号 3/15 発行予定：急性期 那覇市立病院 樋口  
夏号 6/15 : 回復期 大浜第二病院 安慶名  
秋号 9/15 : 地域包括ケア 中部協同病院 島袋・稲福  
冬号 12/15 : 維持期 大浜第一病院 島袋・當銘

6) 「地域包括新時代」取材記事依頼：インタビュー予定、3/11、那覇市立病院：樋口・伊禮

※次回理事会 3月19日（火）18：30～ 司会：新垣、書記：石郷岡、連絡：安慶名



## はいさいワーク

事業所名	沖縄赤十字病院
応募資格	・社会福祉士資格保持者(取得見込み者含む) ・Word・Excelの基本操作が可能であること
雇用形態	フルタイム※産休代替要員
勤務時間	週休2日制(土日祝祭日休み)、9:00~17:40 6ヶ月経過後の年次有給休暇あり(10日)
担当者	沖縄赤十字病院 総務課 担当: 崎山
連絡先	TEL: 098-853-3134



### 編集後記

年があけて、気が付けば3月。新年度に向け、新しい取り組みや行事などでばたばたと時間だけが過ぎてしまっています。振り返って、あの日、あの時間を、あの日をこう過ごしていたならこんな大変な思いをしなくても良かったのにと一人で反省しています。新年度に向けて、3月は気合を入れなおして頑張っていきたいと思います。今年は暖冬?ということで、暖かい日が続いています。急に寒くなることもあるかもしれませんので、皆さんどうぞご自愛ください!!

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会のホームページ

<http://www.msw-oaswhs.jp>